

<内分泌代謝科>

GIO (general instructional objective)

内分泌代謝疾患を幅広く経験することにより、同領域の疾患および病態を理解すると同時に、糖尿病、脂質異常症、甲状腺機能異常、副腎不全、電解質異常など頻度の高い病態については、基本的な臨床的マネジメントが行えることを目標とする。

SBOs (specific behavioral objectives)

- (1) 基本姿勢
 - ・病態の把握ができる病歴聴取を心がける。病態の理解を深める。
- (2) 診察法・検査・手技
 - ・内分泌代謝疾患の病態を評価するための検査計画が行える。
- (3) 症状・病態への対応
 - ・行った検査の評価ができる。
 - ・高血糖、低血糖、脂質異常症、甲状腺機能亢進症・低下症、副腎不全、電解質異常に対して基本的な評価と対処ができる。

LS1 (learning strategy 1) On the job training

- (1) 上級医の指導のもとで入院患者の診療を行う。受け持ち患者数は10-15人程度とする。
- (2) 週4回の部長・医長回診に参加し、症例提示を行う。
- (3) 上級医の指導により、内分泌代謝疾患に関する各種負荷試験などの特殊検査を自ら計画し実施する。

LS2 (learning strategy 2) 勉強会・カンファランス・学会など

- (1) 内分泌疾患で手術治療を必要とする症例の術前カンファランスで提示を行う。
- (2) 上級医の指導により開催される勉強会に出席する。(平均週一回程度)
- (3) 興味を持った症例や病態に関して、上級医の指導のもとに自己学習した成果をローテーション中に発表する。

週間予定

	午前	午後	夜間	
月曜日		回診（内分泌）	（他科との合同カンファランス）	
火曜日		回診（代謝）		
水曜日	回診（内分泌）	頸部超音波検査/	他科との合同カンファランス	
木曜日			勉強会	最終週のみ 研修医発表会
金曜日	回診（代謝）		（勉強会）	

EV 評価

EPOC による評価方法（研修医⇔指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、EPOC 評価システムに入力すること